

やるべき
防災の
第一番は？

加古川グリーンシティ防災会

まずは、防災とは何だ？

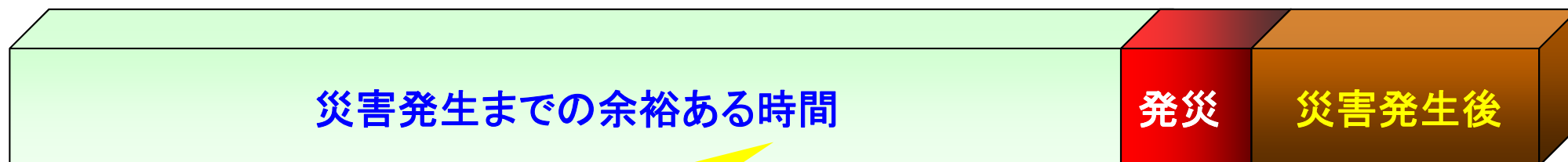
- あなたは『**防災**』をひと言で説明できますか？
- 『**防災**』は、ひとそれぞれ、想いや考え方が違う
- でも、『**防災**』を伝え備えていく為には、防災をひと言で説明する必要に迫られることがある
- そんな時、我々は、このように伝えています！
- 『**防災**』とは・・・「**自分の大切な人を守ること！**」
- そうすれば！
- 「**自分が死んではダメな意味**」が理解できる
- なぜなら、**自分の大切な人を守り続ける為だ！**
- **だから、私は私が生き続ける為の活動をする！**

南海トラフ地震では全国で32万人の死者

- 32万人(想定)の死者←大変なことだが...
- 大きな数字は？テレビや新聞等メディアの向こうの世界「他人事」...でも！
- **大切な人「ひとり」の死** ←
- 32万人の命を守るのは難しい
- あなたの大切な人(小さな単位)を守ることは可能
- その為に必要とする「**被災シナリオ(本当の備え)**」を考える
- 「被災シナリオ」は**災害発生以前**から設定することが大切
- **被災後の活動(事後活動)**にしか目を向けていない人が多いのが現状？
- **自分は生き残れる大前提で物事を考えているのか！**

他人が32万人死ぬより
もし、あなたの大切な人1
人が死にますよと聞けば、
あなたはどうしますか？

やらなければならない対策は？



余裕のある時間にできる
対策を考える！

災害発生

生き残れる
大前提での
考えは捨てる！

- 災害発生時点を起点としての事後活動はしない！
- やらなければならない一番大切なことは何だ？
- 「**生き残る方法**」を考えよう！
- 家族にしか判らない「大切なこと」を考える
- ところが、自分は絶対に生き残れると大きな勘違いをしている人が非常に多いのも現状！

やるべき防災活動

- 「災害時の避難誘導」 ➡ 死んだら遂行不可能！
- 「災害時用の備蓄食料」 ➡ 死んだら食べられない！
- 第一番には「自分の身を守る」
- 生き残れて初めて「要援護者対応も可能になる」
- 災害発生後の対応をシナリオにして想定してはダメ！
- 災害が発生した瞬間に対応可能な「備え」を想定してシナリオをつくり活動すること！
- そうすれば、本当のやるべき防災活動が見えてくる！
- 忘れていませんか？
- あなた自身の死なない対策は本当にできているの？

災害時要援護者

対策も同じ！

災害時要援護者とは誰を指すの？

- 内閣府「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」
 - 必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなどの災害時の一連の行動をとるのに支援を要する人々をいい、一般的に高齢者、障害者、外国人、乳幼児、妊婦等があげられている。
 - 要援護者は新しい環境への適応能力が不十分であるため、災害による住環境の変化への対応や、避難行動、避難所での生活に困難を来すが、必要なときに必要な支援が適切に受けられれば自立した生活を送ることが可能である

災害時要援護者はどこからきたの？

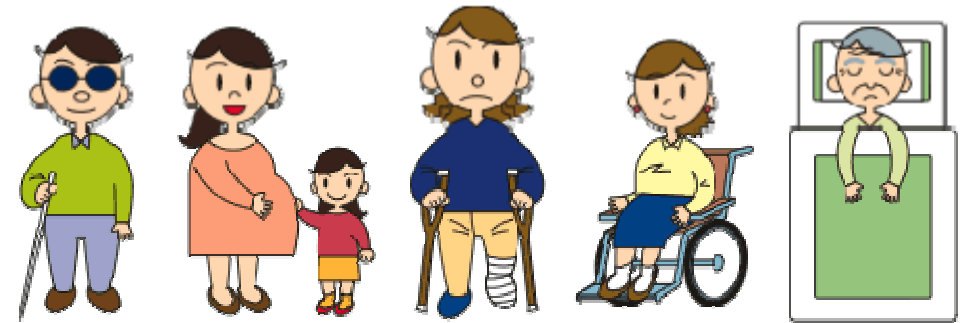
7月 新潟・福島豪雨
7月 福井豪雨
7月 台風10・11号 中国・四国地方
8月 台風15号 東北・四国地方
8月 台風16号 西日本地方
9月 台風18号 中国地方
9月 台風21号 西日本
10月 台風22号 東日本太平洋側
10月 台風23号 近畿・四国地方



- 平成16年に発生した一連の風水害に於いて、犠牲者の半数以上が高齢者であったことから、高齢者等の災害時要援護者の避難支援などについて検討が進められ、「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」(17年3月)を取りまとめられたもの
- 災害発生で、これまでの例から**高齢者や障害のある人が被害を受ける割合が元気な若者などと比べて高くなる**ことが報告

災害時要援護者とは誰を指すの？

- 本当に災害時要援護者とは「この人だ」と決めつけて良いのでしょうか？

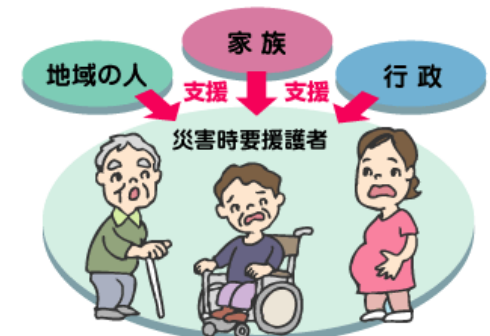


**だから！災害時の
要援護者対策が必要だ？
その要援護者は
「あなただ！」**



災害時要援護者対策は何をすれば良いのでしょうか？

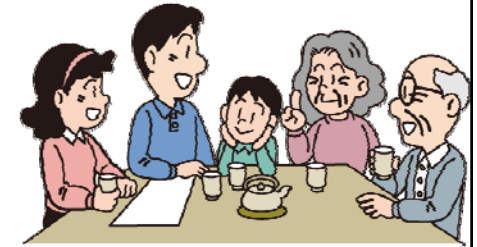
- **災害時要援護者対策は何を？**
 - 災害発生時の避難方法？
 - 災害後の生活支援？
- どの時点を対象として考えるのかで大きく違ってくる
 - 災害発生前？災害発生後？
- 災害の種類によって異なる対策の必要性
- 要援護者によって、それぞれのニーズも大きく違う
- これでは何をやれば良いのか判らなくなってしまう！
- **共通の災害時要援護者対策の結論は！**
 - **生かすこと**
 - **死なせないこと**



「生かす・死なせない」為には、どのようなことが必要か？

- 災害時要援護者になり得る人

- 「**生きたい・死にたくない意識を持つこと**」が重要
- 「**生き残る意味**」を見つけること
- **自分の大切な人**（家族・親戚・友達・恋人）や大切な物（自分が大切と思う物）を守る為にどうすれば良いのかを考える



- そう考えれば「**答え**」が見えてくる

- 答えは・・・「**自助努力**」「**自発的自助**」
- 他人を当てにせず、自分が生き残る為に何をすれば良いかを考える
- しかし、それは自分にしか判らない←他人は判らない
- 大半の人は「**仕方なく自助・受け身の自助**」が多い！
 - 「**そう言っても誰か来て助けてくれる！？**」

誰かが助けにくるなんていうのは「絵に描いた餅」の対策

- 阪神淡路大震災の教訓から学べ
 - 死者6434人の内、直接死でなくなった約5500人の**9割が“15分以内”に亡くなった即死**
 - この教訓から15分以内の対策の重要性を考えると？
- 答えは簡単！
 - 「**他人は当てにできない**」
 - 「**災害発生までに対策をする必要性**」
- 要援護者支援を受ける為には？
 - 日頃から家の中を片付けて、もしもの時に避難路の確保
 - 家具の転倒防止や上からものが落ちてこない落下防止
 - これらの対策をした上で！
- **あなたが生き残って初めて受けられる支援**



15分が命のタイムリミット

- では、当てになるのは誰？
 - **家族やご近所の人達**
- その為にやっておくべきことは？
 - 地域活動に参加すること
 - 日頃からご近所の方々に挨拶をすること
- 日頃の生活が災害発生時には
「あなたにとっての大切な災害保険」となる
- 東日本大震災では？
 - 他人をあてにして助けに来るのを待つのではなく、早々に自分から避難をした人が助かっている
 - **津波からの避難も「生き残って」初めて逃げられる**
- これが**真実**！



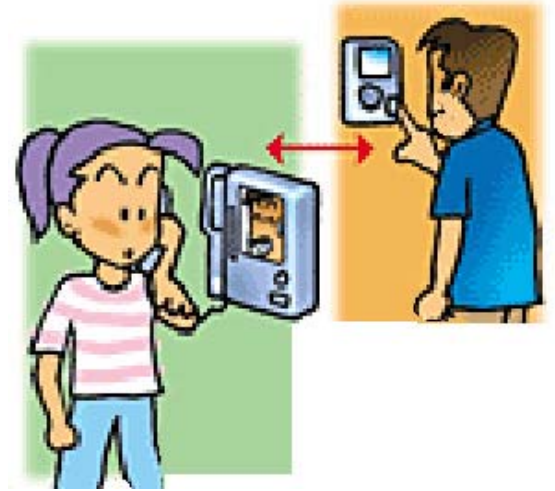
タイムリミット「15分」の被災シナリオ

- **0分:地震発生**
 - 「地震！」と自分が認識するには数秒間が必要
 - 発生の瞬間は自分の身を守ることが最優先
 - 震度5強以上の揺れでは、適切な判断と普段と同様の自由な行動は不可能
- **1分後:強烈な揺れは収まる**
 - 自分の身の安全を確保しながら、その他の活動が始まる
 - 火の元の確認(もし出火が確認された場合は消火が最優先)
 - 家族の安全確認やその場の周囲の人の安全確認
- **3分後:連発する余震による強い揺れに襲われる**
 - 負傷者発生の場合は応急処置
 - 家具等転倒で下敷きになっている場合は救出
- **7分後:自分の置かれた状況が把握できる可能**
 - ラジオやテレビから正しい情報を収集
- **10分後:要援護者への声掛けがスタート**
 - 災害時要援護者への活動はここから始まる
 - 災害発生から早くとも10分後の活動となる



「命の灯火を守ることが可能な時間」まであと5分

- 果たして何人に声掛けができるのだろうか？
 - 一軒ずつインターホンを鳴らし安否確認
 - 隣人がスムーズに対応して3分は要する
- 15分以内の声掛け可能軒数→**2軒？**
- この**貴重な時間を短縮する方法**がある
 - 隣人が自らドアを開け「**私の家は大丈夫**」と通知し合うこと
 - しかし1軒目で家具の下敷きによる救出や負傷者の応急処置が発生すれば2軒目以降の声掛けは不可能
- 現状の災害時要援護者対策では、かなり無理が生じる！
- **災害時要援護者になり得る人**に「**災害発生後、確認に行きます。救助に行きます。一緒に避難します**」
- これらは**適切な支援活動**と言えない！

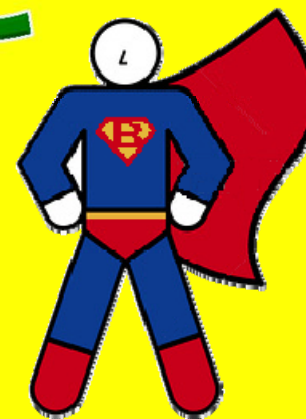


災害時要援護者対策は「死なない・生きる意味を！」

- 災害時要援護者となり得る方へは
 - 「最低限自分にできることをする」といった意識を自覚させる
 - 災害発生までに考え準備し活動しておくことがより大切
- 「自分にできることは何なのだろうか」・・・例えば、
 - 日頃から近所の人達や地域の人達と挨拶を交わす
 - 玄関までの避難路確保を心掛ける上で普段から家の中を片付け、家具転倒防止、上からものが落ちてこないよう落下防止をする等
- 「震度7の揺れ」がくることを忘れてはいけない！
 - その揺れの中で他人のことを考える余裕はありますか？
- 考え直さなければ、また多くの尊い命が消えてしまう
- “自発的自助”の必要性を理解しよう！

忘れるな！

もうひとつ
忘れてはいけないこと



あなたは
スーパーマン
ではない！

つづく